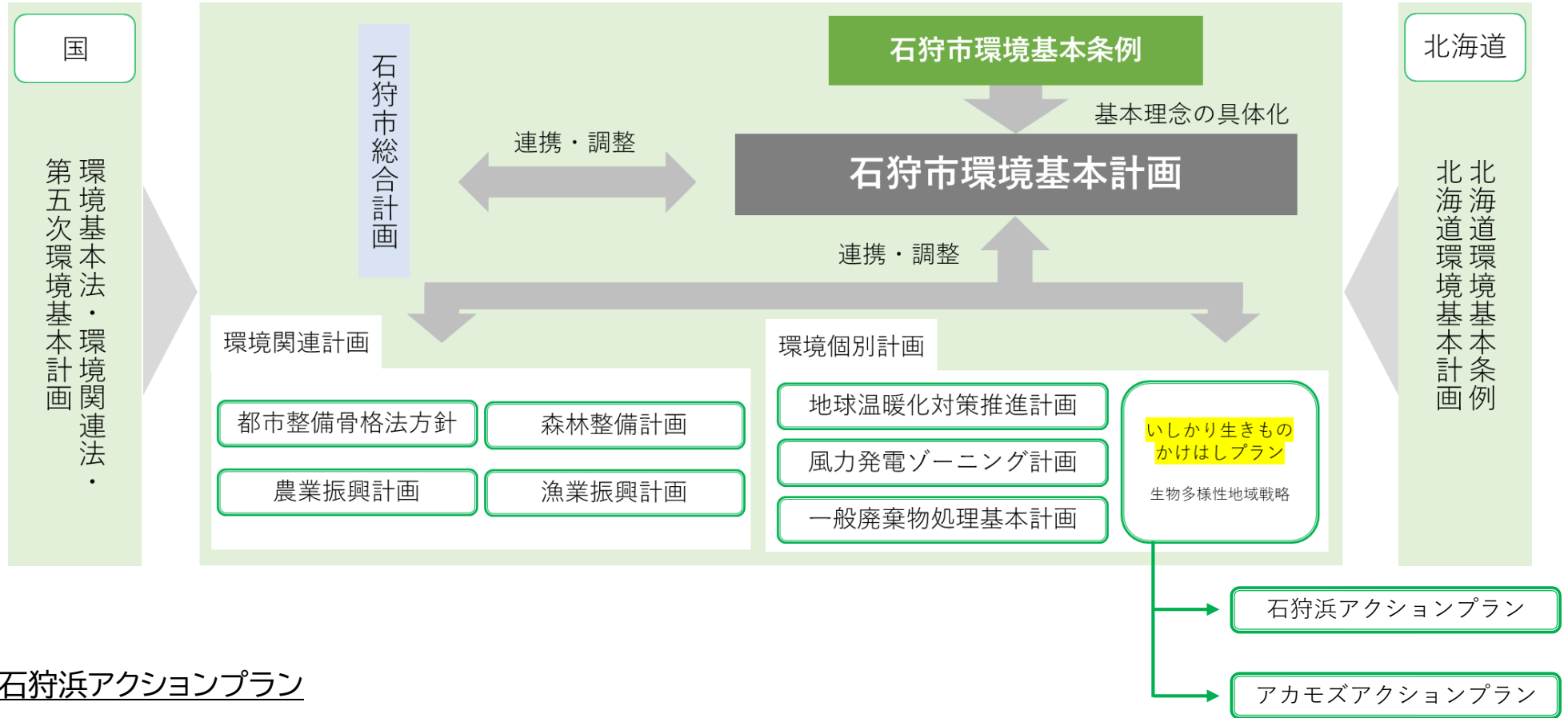


○石狩浜海浜植物保護センター事業の位置づけ



○石狩浜アクションプラン

目的: 石狩市の中でも保全に経歴のある重要地域である石狩浜について個別に行動目標を定め、石狩浜の生物多様性保全を進める。

施行: いしかり生きものかけはしプランに合わせて、2024年3月に施行予定

概要: 石狩浜の連続した環境と、多様な環境に生息・生育する動植物の環境を保全するために、ゾーンごとの管理目標やモニタリング、データの蓄積から、情報発信等について定める。内容については有識者の意見をまとめ、環境審議会にて環境基本計画に含まれる個別計画の一つとして位置づける。

○令和4年度石狩海浜植物保護センター事業計画

事業方針（環境基本計画方針）

事業概要

I	情報・学び・体験の場としての施設機能を充実させる （自然との共生/環境教育の推進、環境意識の向上）	【自然情報発信・体験学習事業】 海浜植物や石狩浜の海浜生態系に関わる情報を保護センターの展示室や観察園を用いて発信し、石狩浜への興味の向上と郷土愛の醸成を図る。
II	生物多様性の保全・データの蓄積 （生物多様性の保全）	【調査・研究・保全事業】 情報発信・体験学習に必要な自然情報のみならず、観察園・再生園の整備に必要な現地情報の収集、収集したデータの蓄積・考察・検証から必要な保全対策の検討をする。
III	地域資源としての持続的利活用に向けた基盤をつくる （自然との共生/様々な主体との連携・協働）	【資源活用の基盤整備事業】 持続可能な範囲内で海浜植物を活用していくことで、海浜植物と関わる郷土文化の継承や、多様な主体が保全に関わる基盤の構築。

○第3次石狩市環境基本計画(令和3年～令和22年)

【自然環境分野】 生物多様性

豊かな自然と多様な生物、そして人とが共生するまち

施策方針	取り組み方針
I 生物多様性の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性の保全 ・希少種の保全、外来種の拡大防止の対策 ・他機関や市民との連携、種ごとに必要なモニタリングや対策の推進
II 自然との共生	<ul style="list-style-type: none"> ・防災、減災機能を活用するEco-DRRの推進 ・野生鳥獣の生態を他機関と情報共有し、管理と調和する対策の検討 ・市民が自然を学び、楽しめる自然情報の普及啓発

【連携・協働分野】 教育・パートナーシップ

全ての人々が環境を学び、考え、行動することで、
環境施策に「協働」で取り組んでいるまち

施策方針	取り組み方針
I 環境教育の推進、環境意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・環境教育と環境学習の推進 ・環境情報の収集・発信 ・環境活動の担い手などの人材育成
II 様々な主体との連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> ・情報交換・交流の場づくり ・協働体制の整備(活動団体への支援) ・他自治体、民間等の関係団体(機関)との新たな環境産業の創出

I 情報・学び・体験の場としての施設機能を充実させる
(自然との共生)

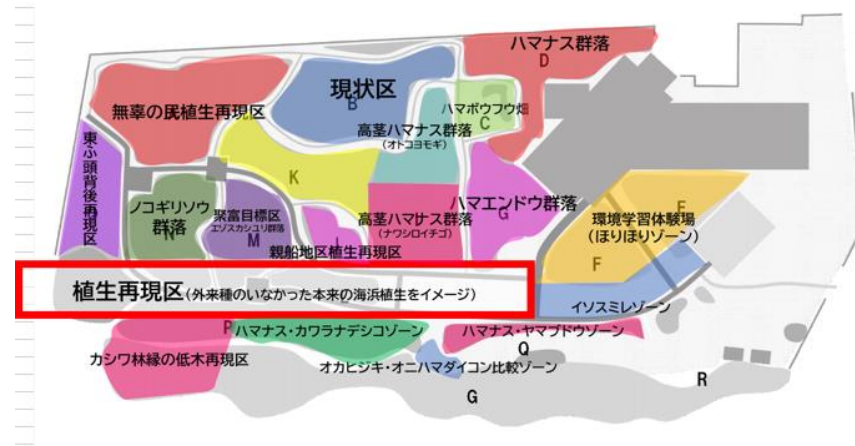
【自然情報発信・体験学習事業】
海浜植物や石狩浜の海浜生態系に関わる情報を保護センターの展示室や観察園を用いて発信し、石狩浜への興味の向上と郷土愛の醸成を図る。

	項目	目的	手法
【保護センター館内】	常設展示の維持管理	来館者が、どんな時期に来ても石狩浜の背景や、海浜植物について分かりやすい情報の掲示。その季節に合った新しい情報の発信、保護センター内外含めた開花情報や環境情報の更新を実施。	調査写真や、観察園の開花情報などを随時更新(目安として月に1度)。展示の内容については、R5年度に出来上がる石狩浜のアクションプラン作成に合わせてR6年度以降見直しを検討。
	フィールドマップの情報更新		
	調査研究報告、学習報告等の掲示	研究現場での調査や実験について、来館者に情報を発信し、石狩浜の新しい一面を知る場として設置。	

I 情報・学び・体験の場としての施設機能を充実させる
(自然との共生)

【自然情報発信・体験学習事業】
海浜植物や石狩浜の海浜生態系に関わる情報を保護センターの展示室や観察園を用いて発信し、石狩浜への興味の向上と郷土愛の醸成を図る。

	項目	目的	手法
【観察園】	園路および表札の整備・維持管理	来館者の方が安全に見学できるように、園路の整備及び花の情報の提示。	日常業務内で点検。
	ゾーンの目的に沿った 植生維持管理	現地の植生調査をもとに、展示内容と連動した植生遷移の再現をすることでコンパクトに石狩浜の自然環境や海浜生態系を見学できる場所とする。その他、野生下では見ることが難しくなった植物の保全場所としての利用。	自然状態を再現しつつ、維持管理として効率の良い手法の検討・実施。 環境学習(ほりほりゾーン)への利用場所の設置



事業方針(環境基本計画方針)

事業概要

I 情報・学び・体験の場としての施設機能を充実させる
(自然との共生)

【自然情報発信・体験学習事業】
海浜植物や石狩浜の海浜生態系に関わる情報を保護センターの展示室や観察園を用いて発信し、石狩浜への興味の向上と郷土愛の醸成を図る。

	項目	目的	手法
【ハマナス再生園】	体験学習やイベントを想定したハマナス再生園の整備・維持管理	来館者の方が安全に見学及び花摘み等ができるように、園路の整備及び花の情報の提示。	日常業務内で点検
	市民参加によるハマナス再生園維持管理「ハマナスHealthyタイム」の内容充実(ミニレクチャー・ポストカード配布等)	ハマナス再生園の維持管理の一部を市民の活動と組み合わせ、維持管理の一手法として維持と普及啓発を目的に実施。	ハマナスHealthyタイムの実施(月1回程度)



事業方針(環境基本計画方針)

事業概要

I 情報・学び・体験の場としての施設機能を充実させる
(自然との共生)

【自然情報発信・体験学習事業】
海浜植物や石狩浜の海浜生態系に関わる情報を保護センターの展示室や観察園を用いて発信し、石狩浜への興味の向上と郷土愛の醸成を図る。

	項目	目的	手法
【環境学習】	事前学習の補助	市内教育機関からの依頼が多様化していることから、学習の目的と所用時間を設定し、アクティブラーニングを主体とした石狩浜の授業内容の構築。	環境学習の実施から教材、内容の見直し。
	ワークシート・体験プログラムの構築		

	項目	目的	手法
【来館者のニーズ、意識把握】	アンケートの実施	来館者からの意見を聞く機会の創出。	センター内にアンケート用紙の設置。

事業方針(環境基本計画方針)

事業概要

I 情報・学び・体験の場としての施設機能を充実させる
(自然との共生)

【自然情報発信・体験学習事業】
海浜植物や石狩浜の海浜生態系に関わる情報を保護センターの展示室や観察園を用いて発信し、石狩浜への興味の向上と郷土愛の醸成を図る。

	項目	目的	手法
【情報発信】	ホームページ維持管理	来館を促すだけでなく、来ることができない人へも石狩浜の自然について知ってもらうための普及啓発。	調査写真や、観察園の開花情報などを随時更新(目安として月に1度)。 展示の内容については、R5年度に出来上がる石狩浜のアクションプラン作成に合わせてR6年度以降見直しを検討。
	情報誌の発行		
	調査研究等報告会の開催		
	近隣施設での情報案内		
	CISEネットワーク・館ネットワーク・その他他団体主催事業への協力・出展	石狩市外へのセンター及び石狩浜について積極的なPR。	他団体の主催イベントに参加



II	生物多様性の保全・データの蓄積 (生物多様性の保全)	【調査・研究・保全事業】 情報発信・体験学習に必要な自然情報のみならず、観察園・再生園の整備に必要な現地情報の収集、収集したデータの蓄積・考察・検証から必要な保全対策の検討をする。
----	-------------------------------	--

	項目	目的	手法
現植生・生物相の把握	自生地における 見本植生の選定と植生調査 (海岸草原保全手法の検討)	観察園のエリアごとの管理に必要な現地情報の 収集	季節ごとの植生調査
	観察園・再生園の植生調査 (海岸草原保全手法の検討)	見本となる現地植生との比較に必要な情報のモ ニタリング	
	イソスミレの生育状況把握	イソスミレの状況の把握	個体数、生育環境モニタリング
	ハマボウフウの生育状況と 採取の影響把握	捕獲圧や保護区外における生育状況の把握	



Ⅱ	生物多様性の保全・データの蓄積 (生物多様性の保全)	【調査・研究・保全事業】 情報発信・体験学習に必要な自然情報のみならず、観察園・再生園の整備に必要な現地情報の収集、収集したデータの蓄積・考察・検証から必要な保全対策の検討をする。
---	-------------------------------	---

	項目	目的	手法
植生管理に係る手法の検証	聚富海岸植生再生試験・ モニタリング調査協力	海浜植生の再生手法の検討(主催:道総研)	植生調査等の協力
	ハマナス再生園・観察園における自生地植生再現及び効果的維持管理手法の検証(海岸草原保全手法の検討)	自生地の状況を踏まえて、より自然に近い状態で維持できるような管理手法の検討。	現地での状況を踏まえ、日常業務にて播種・除草を実施



Ⅱ	生物多様性の保全・データの蓄積 (生物多様性の保全)	<p>【調査・研究・保全事業】</p> <p>情報発信・体験学習に必要な自然情報のみならず、観察園・再生園の整備に必要な現地情報の収集、収集したデータの蓄積・考察・検証から必要な保全対策の検討をする。</p>
---	-------------------------------	--

	項目	目的	手法
資料・データの集約・管理	標本・調査記録・自然情報にかかわる収集・管理	センターに保管している標本の維持管理 調査の記録や報告書の集約	標本の定期点検、調査報告書の作成、関係機関報告書の収集など

	項目	目的	手法
外来種対策	生育状況把握、範囲・手法の検討、対策実施	石狩浜の環境変化等の状況把握	他事業ので現地調査から検討

Ⅱ	生物多様性の保全・データの蓄積 (生物多様性の保全)	【調査・研究・保全事業】 情報発信・体験学習に必要な自然情報のみならず、観察園・再生園の整備に必要な現地情報の収集、収集したデータの蓄積・考察・検証から必要な保全対策の検討をする。
---	-------------------------------	---

	項目	目的	手法
保護地区の利用状況把握・監視・啓発・維持管理	車両侵入の有無、誘導ロープ等の設置・修繕	海浜植物等保護地区の維持管理	監視員を配置し、現状の保護地区の監視、車両侵入の有無、ロープの補修等を実施
	単管柵の維持管理		
	はまなすの丘公園木道周辺の植生維持管理	公園(観光地)としての景観保全	目指す自然の景観について専門家を交えた方針の決定。

Ⅲ	地域資源としての持続的利活用に向けた基盤をつくる (自然との共生)	【資源活用の基盤整備事業】 過去に石狩浜で海浜植物を生活の一部としていた背景を再び再現し、持続可能な範囲内で海浜植物を活用していく郷土文化の継承する基盤を構築する。
---	--------------------------------------	---

	項目	目的	手法
ふれあい地区のルールの普及	ハマボウフウの生育状況調査と連動した啓発型参加型調査	ふれあい地区の認知度向上のため地元を中心に普及啓発	ハマボウフウ調査と普及啓発を兼ねたイベントの実施



Ⅲ	地域資源としての持続的利活用に向けた基盤をつくる (自然との共生)	【資源活用の基盤整備事業】 過去に石狩浜で海浜植物を生活の一部としていた背景を再び再現し、持続可能な範囲内で海浜植物を活用していく郷土文化の継承する基盤を構築する。
---	--------------------------------------	---

	項目	目的	手法
ハマナス再生園の活用に対する協力	花卉・果実利活用状況の把握	石狩浜ハマナス再生協議会との連携したハマナスの活用と普及啓発の実施	企業へのハマナス花卉・果実の提供と石狩浜のPR協力依頼

